

平成 27 年度 推薦入試試験問題（生活科学科 生活科学専攻）解答例

問 1（30 点）

【採点のポイント】

- ・ 筆者の考えを読みとり，それを的確にまとめていること
- ・ 解答全体の論理に一貫性があること
- ・ 基本的な文章表現ができていること

【解答例】

自分の考えや感性を形にあらわし，それを多くの人に理解してもらう手段が，音楽や絵画や文学などの芸術である。職業としてそれに取り組むのではなく，生活を発表の場として，様々な方法によって自己を表現するのが生活芸術である。毎日の生活の中で自分を磨いて習得した料理，インテリア，写真，ダンス，手芸，ファッション，歌，書道などあらゆる生活技術が表現方法となりうる。少人数が集まる日常の何気ない場面であっても，ほんの少しの心配りやセンスによって特別な印象を与え，居合わせた人の気分を和ませることができる。それだけでなく，表現した人自身の魅力を高め，豊かな生活スタイルを築くことにつながる。（287 字）

問 2（70 点）

【採点のポイント】

- ・ 生活の場における自己表現の意味を理解していること
- ・ 自分自身の自己表現について，経験や方法が具体的に述べられていること
- ・ 解答全体の論理に一貫性があること
- ・ 基本的な文章表現ができていること

【解答例】

私は，自分の部屋のコーディネートを力を入れている。例えば，部屋の模様替えをするのに，カーテンを取りかえるのは大変だが，リボンでロールアップしたり，レー

スをつけたりすることで、雰囲気を変えることができる。同じ素材でクッションやベッドカバーを手作りすれば、統一感が増す。100 円の写真立てや手鏡もデコレーションして、自分だけのオリジナルにリメイクしている。友人が遊びに来て「かわいい」と言われたり、手作りをほめられたりすると、ますますやる気がでてくる。寝こみがちな祖母の部屋を明るい雰囲気に変えて喜ばれたこともある。また、インテリアに限らず、これまでに友人の依頼で小物を作ったり、高校の文化祭の模擬店で手作りのアクセサリーを販売したり、さらに、多くの人に見てもらうため、コーディネートした部屋の写真をネットで公開したこともある。このような経験は日常的なものに過ぎないが、これに満足せず、さらにセンスや技術を磨くために新しいことにも取り組んでいきたい。生活におけるデザイン的な思考や感性を養うことは、生活を豊かに魅力的にするだけでなく、自分自身の評価を高める手段になると思う。(483 字)